

オパシのご導入は、 お早めに！



平成19年7月31日より法改正！
オパシメータによるPM検査が導入されました。
(粒子状物質)

※平成19年9月1日より実施

オパシメータ 《光透過式スモークメータ》



MEXA-600S
オパシメータ

※スタンド(OP-ST)はオプション



AVL4800-P
ダイスモーク4800

※スタンド(OP-ST)はオプション



AVL4000L-P
ダイスモーク4000ライト

※ネットワークシステム(コンピューター式検査ラインシステム)との接続が可能になりました。
詳しくは、お近くのバンザイにお問い合わせください。

BANZAI NEWS

2008
Spring
266

特集

BANZAI NEWS

もっと心を動かすサービスへ…
見直そう、環境と技術
感動プロジェクト2008 PART2

環境に優しい「安・信・感」ショップ
ようこそ、クリーンで快適なサービス空間へ！

BANZAI 株式会社 バンザイ

<http://www.banzai.co.jp>

本社
東京都港区芝2-31-19
TEL 03-3769-6880
E-mail: eigo@banzai.co.jp

関東支店
さいたま市緑区原山4-1-3
TEL 048-881-7941
E-mail: kanto_br@banzai.co.jp

札幌支店
札幌市西区24軒1条7-3-10
TEL 011-621-4171
E-mail: sapporo_br@banzai.co.jp

仙台支店
仙台市宮城野区福室2-8-21
TEL 022-258-0221
E-mail: sendai_br@banzai.co.jp

東京支店
東京都港区芝2-31-16
TEL 03-3769-6840
E-mail: tokyo_br@banzai.co.jp

名古屋支店
名古屋市中区大須1-29-36
TEL 052-201-7551
E-mail: nagoya_br@banzai.co.jp

大阪支店
大阪市長田東3-3-11
TEL 06-6744-1041
E-mail: osaka_br@banzai.co.jp

広島支店
広島市西区南観音2-7-10
TEL 082-233-3201
E-mail: Hiroshima_br@banzai.co.jp

福岡支店
福岡市博多区那珂5-3-15
TEL 092-411-1261
E-mail: fukuoka_br@banzai.co.jp

海外販売部
東京都港区芝2-31-16
TEL 03-3769-6894

●営業所 旭川・青森・秋田・盛岡・郡山
山形・新潟・長野・前橋・宇都宮
水戸・埼玉・千葉・横浜・静岡・多摩
北陸・三重・京都・神戸・高松

●出張所 帯広・函館・富山・松山
岡山・山口・長崎・大分・熊本

●販売会社 バンザイ鹿児島販売(株)
バンザイ宮崎販売(株)
バンザイ沖縄販売(株)



ISO9001・ISO14001
自動車整備用機器検査用機器の設計開発販売及びサービス
バンザイでは「顧客第一主義」を信条に
お客様とのきずなを大切に、
お客様満足度の向上を図ってまいります。



桃の花と南アルプス ————— 山梨県笛吹市

暖かな日差しが降りそぐ甲府盆地の春。いっせいに咲きほころんだ桃の花々の、ほのかな匂いを風がはこんでくる。桃の里、笛吹市一宮は一面に咲きほこるピンクの花々をじゅうたんのよう敷きつめて眼下に広がっている。はるかに連なる南アルプスの山々、3,000メートル級の山々はまだ厚く雪の化粧におおわれたまま。

★歳時記

- 4月 18日 発明の日
- 29日 昭和の日
- 5月 3日 憲法記念日
- 4日 みどりの日
- 5日 こどもの日
- 6月 5日 環境の日
- 10日 時の記念日
- 21日 夏至



●目次

- ★特集【もっと心を動かすサービスへ】……………①
- 見直そう、環境と技術～感動プロジェクト2008～PART 2
 - 環境に優しい「安・信・感」ショップ
 - ようこそ、クリーンで快適なサービス空間へ！
- ★モデルショップ訪問【島根日野自動車株式会社 松江支店】…⑥
 - 大型トレーラー時代に対応
 - 画期的な工場づくりを実現！
- ★モデルショップ訪問【高知ダイハツ販売株式会社 本社】…⑧
 - 本社とBP、PDIの統合により
 - 全販売拠点のバックアップ体制を確立
- ★ショールーム……………⑩
- ★トピックス【オートメンテナンス2008(中国)に出展】…⑫
- ★感動夢工場・工房シリーズレポート No.24……………⑭
 - らくらく車検工房 (有)共輪自動車
- ★ロータリー……………⑯
- ★BANZAIガイド……………⑰

特集

BANZAI NEWS



もっと心を動かすサービスへ
見直そう、環境と技術
～感動プロジェクト2008～
PART 2



環境に優しい「安・信・感」ショップ ようこそ、クリーンで快適なサービス空間へ！

地球規模の環境から、衣食住にまつわる生活レベルの環境まで、さまざまな環境問題が私たちを取り巻いています。地球の温暖化や資源問題も、いまや他人事ではありません。一人ひとりの取組みがおおきな積み重ねにつながっていくのだそうです。環境問題といえは何かと我慢を強いられることばかり、そんなイメージが付きまどってしまっていますが、ここはちょっと視点を変えて、快適、クリーンなカーライフのご提案、サービスの環境づくりから考えてみてはいかがでしょうか。まずは身近な環境改善から取り組んでみませんか。

まずは身近な環境問題の解決から

今ではエンジンやミッションなどの重整備の場合でもなければ、メカニックの手が油やグリスで汚れることも少なくなってきました。それでも、ともすれば床面に廃油をこぼしてしまったり、廃部品がストールの片隅に積み重なってしまったり…、サービス工場を清潔に保つにはなにかと神経を使いますね。本来、サービス工場はレストランやファッションブティックとは違いますから、お店をきれいに、快適にとってもおのずからその目的なり意味合いは異なります。サービスの効率や工場の機能を犠牲にしてまで清潔に、きれいにというのは本末転倒かもしれませんね。

ところが、一台がストールから出たら即、清掃を実践している整備工場があります。どうせ次のクルマがすぐ入庫するのだから、というのではなく、汚れを残さずに次のサービスにかかるということが大切なのだそうです。これならサービスにあたる心構えも違ってくるでしょうし、お客様にとっても気持ちがいかに違いありません。「一回汚してしまうと、あとは菌止めがなくなってしまうから」とのことでしたが、手間は大変でも働くメカニックにしても気持ちがいいことは同様でしょう。いわばこれは環境改善の第一歩といえるかもしれませんね。このように日常の清掃を励行していく上では、それなりの

工夫や設備が必要になります。手間がかからずに容易に清掃できるフロア材質にしたり、手軽に使えるフロア清掃機を配備することも効果的です。またオイルや廃液などがこぼれないよう、ドレン機器にも気を配りたいものです。

サービスストールも安全優先の環境整備を

どんなお店でもそうですが、店舗はお客様にとって来店しやすく居心地がよく、快適なスペースであるとともに、従業員にとって働きやすい空間であることがなにより大切です。まして整備という労働生産のウエイトが大きいサービス工場では、従来はお客様の目をそれほど意識することはありませんでした。ショールームやフロントや商談コーナー、待合コーナーなど、つねにお客様の目に触れる場所に対して、サービス工場は完全にバック



ヤードと割り切って、整備作業に支障のないように、作業の効率を優先していればよかったのです。

ところが昨今ではサービス工場もお客様の目に触れる場面が多くなっています。立会い車検や受入れ点検などの際にお客様に立ち会っていただく場合や、点検、整備の作業中にもサービスストールでお客様に確認をしていただくような場面もあるでしょう。

したがってサービスストールといえどもお客様の目に触れる場所であることを意識する必要があります。むしろ積極的にサービススペースを見て頂けるようにした工場も増えています。

このような場合、もちろん清潔に配慮することが大前提ですが、それ以前に安全であることが最優先ですから、万一、お客様がサービスストールに入られても危険がないような配慮が大切です。お客様が入られる場所を想定して床面を色分けするような工夫をされている工場もあります。こうすることによってお客様が安心して整備作業を見ることができると同時に、床に工具や部品が乱雑に置かれたりすることがないようにという工夫です。

日ごろの清掃、整理整頓はもちろんですが、時には日常使用しているリフトや整備機器のチェックもしてみたいかたがでしょう。汚れや錆があれば落とし、きれいにペインティングしておきましょう。もちろん安全性、機能性に不具合がないか点検・整備を行うことも大切です。

待合コーナーの快適空間づくり

もちろん商談コーナーや待合コーナーにはきめ細かい気配りが必要ですが、これを「おもてなし」という側面だけでなく「環境」という側面から見たらどうでしょうか。お客様が30分から1時間、場合によってはそれ以上の時間を過ごされることを念頭において、快適空間づくりを考えてみましょう。

待合コーナーはたいていフロントに隣接しているものですが、ここはあくまでも「お客様のスペース」として、パーテーションで仕切るなどしたいものです。つねに従業員の目が気になるようでは、お客様もリラックスできません。もちろん、お客様をほったらかしにしておくのはいけません、気を遣いすぎるのもお客様にとっては逆に気詰まりです。お客様の待ち時間が長くなったときに、タイミングよくお茶の入れ替えができるような、「目が届く」くらいの距離感が良いのではないのでしょうか。常備する雑誌などもつねに新しく、入れ替えにも気を配りたいものです。

最近ではほとんどのショールームにキッズコーナーが併設されるようになってきましたが、おもちゃや遊び道具の選択、汚れや衛生面にも常





に注意を払うことが必要です。抗菌・脱臭済みなどの表示があれば親も安心してお子さんを遊ばせることができるのではないのでしょうか。またキッズコーナーはショールームの一角に設置されているケースが多く見受けられますが、ショールームのガラス、壁が汚れていないのでしょうか。子供は汚すのが仕事といわれるくらいですから、次に来店されるお客様のためにも清潔さに留意することが大切です。

お客様との応対中にお子様が進んでくったり、騒いだりすると、せっかくの商談にも水を差されかねません。親がしばらくの間目を離しても安心して子供を遊ばせておけるような環境づくりを心がけたいものです。できれば子育て中の社員や、親しいお客様で適任の人がいれば、こうした人たちにアドバイザーになってもらうのもよいでしょう。備品なども使っているうちに壊れたものがあればこまめに入れ替えや補修をするなど、つねに配慮が欠かせません。

また待合コーナーで音楽を流すのであれば、これもやはり「心地よさ」を基準に音楽の種類や音量を考える必要があるでしょう。バックグラウンドミュージックである以上、「好み」のないもの、すなわち年齢や趣味に関係なく無難なものであることが前提になります。

最近ではあまり見かけませんが、サービスストールでラジオを流している工場がよくあります。これも作業の効率面を考えれば、ある程度必要なのかもしれません。できれば有線放送をはじめとするミュージックサービスを導入するなど、店舗、サービス工場双方の環境改善を図ることが理想的です。

サービス工場であるからには、ある程度の騒音はいたし方ありませんが、騒音に負けないくらいの音量でサービスストールでラジオをかけっ放しにしておくのは考えものです。

「環境整備」は弱者の視点にたつて

たとえば出先で「トイレへ…」と思い立ったとき、あなたならどこへ行くでしょうか。その場所なりお店なりが、その人にとっての「行きつけ店」なのではないのでしょうか。たとえその時は何も買わなかったとしても、必要があれば間違いなくそのお店を選ぶのではないのでしょうか。豪華である必要はありませんが気兼ねなく利用できる、しかもリラックスできる雰囲気が大切です。もし設備に投資されるのであれば、トイレ、とくに女性向けの化粧室は優先順位ナンバーワンといえます。最近ではスペースも広くとり、手すりを設置したり、乳幼児のためのベビーシートやベビーキーパーを設置することも当たりまえようになってきました。



以前はこのようなトイレは「身障者用」と呼ばれ、特別なものとして扱われていましたが、平成18年に施行されたバリアフリー新法により百貨店、公共建築などの特定建築物を対象としたものから

集合住宅などにも設置対象が拡大されてきたこともあり、現在では高齢者や一般の人にも幅広く使用できる「多目的トイレ」として普及してきました。昨今では自動車販売店やサービス工場においてもこうした快適さに配慮したトイレも見られるようになってきました。まして、立会い車検や短時間車検などを商品化していく上で、こうした環境整備は必須といえるでしょう。

サービス工場においてはスペースや規模的な制約がありますから、とくに女性向けのパウダールームなどを設けたり、あるいは男性と女性向けにトイレを分けたりすることが難しい場合もありますが、このような多目的トイレとすることで、快適な店舗環境を実現することができるでしょう。

地域に対する配慮もお忘れなく

地域密着といわれるように、自動車サービス業にとっては地域顧客が存立の基盤です。工場、店舗内の環境づくりの一方、工場の外観や体外的な環境整備の配慮も必要です。

例えば油水分離槽など排水浄化設備は確実に機能しているか、大雨のときでも廃油が流出するようなことがないか、など環境設備についても日頃のメンテナンスを心がけたいものです。また繁忙期には夜間にまで作業がずれ込むこともあります。通常なら問題にならない騒音レベルでも、近隣には迷惑になることもあり得ます。あらかじめ低騒音インパクトなど騒音対策機器を導入するなどの配慮も必要でしょう。

また廃棄物、リサイクル資源もきちんと分別し、外から直接目に触れないように管理されているのでしょうか。下取り車両や使用済み車両についても適切なマニフェスト管理を実施することはもちろんです。

環境に優しい「安・信・感」ショップへ

昨今取り沙汰されているコンプライアンス問題などの影響もあり、地域住民が企業を見る目は非常に厳しくなっています。排水、排気、騒音などの法的規制をクリアすることはもちろん、工場の外観や看板など、美観にも配慮し、お客様以外の近隣住民からも好感をもたれるような企業姿勢で取り組むことが必要です。場合によっては自社独自の基準を設け、取組みの目標を明らかにするなど、「環境に優しい」企業メッセージをアピールしてみてもいかがでしょうか。お客様に対する企業理念の理解にもつながるのではないのでしょうか。

昨今、企業や生活者に求められているエコロジーへの取組みはさらに切実な具体性を伴ったものになっています。地域社会を顧客とする自動車サービス業においても、安心して信頼され、感動のサービスを提供していく「安・信・感」ショップへの取組みを、「環境」を通じて実現していく、いまがチャンスといえるのではないのでしょうか。



省力化と環境面に万全の対応 画期的な工場づくりを実現！

島根、鳥取両県に日野自動車の販売・サービス拠点を展開する島根日野自動車(株)では、このたび松江支店サービス工場の全面リニューアルを実施。大型車のあらゆるサービスに対応する最新の設備機器を導入するとともに、今後の入庫拡大も視野においたキャパシティの確保を実現されています。



松江支店 支店長
長野 博氏



サービス課 工場長
川東 昇氏



左が検査ラインと車体工場、右が松江支店と整備工場



サービスフロント左にお客様待合室も完備

巨大なキャノピーが受入れスペース

松江から米子、鳥取へと山陰の主要都市を結ぶ国道9号線に面した、同社松江支店は看板や壁面などに真紅のCIをアレンジした斬新な外観となっています。門を入ると工場の中央部、広い通路にまたがる大屋根のパラペットに描かれたHINOのロゴサインがひととき目を引いています。

国道から向かって左側には本社社屋と検査ライン及び車体整備工場、右側には松江支店と整備工場があります。左右の工場の中央通路部分は前記のように巨大なキャノピーで覆われ、全天候の受入れスペースとなっています。今回の全面リニューアルは昭和47年以来的旧サービス工場を一新し、時代のニーズに対応する各種整備機器を導入することと、併せてサービスのキャパシティの拡大を目的とされています。



国道9号に面した新店舗、左が本社、右が松江支店



左より下部洗浄ストールと整備ストールの合計7ストール



左から検査ライン、钣金ストール、下部塗装ストール

大型低床4軸車もらくらく入庫

サービス工場は洗車場を含めて8ストール。ツインエースの4柱、3柱が各1基、2柱式が2基、ピットフロアーリフトが2基、スーパープラトンが1基、また洗車場にはベガリフトと、すべてのストールにリフトが導入されています。また車体整備工場の左端には明るいガラス張りの検査ラインを併設、大型車用各種テスターにネットワークシステムを導入。隣接した钣金塗装工場にはスーパープラトンが2基、下回り塗装場にはキャタピラツインエースを設備しています。また大型排気装置を備えた専用塗装ブースも完備しています。このように「画期的な工場づくりが実現」(長野支店長)したことにより、新工場においては省力化と環境面の両面にわたる大幅な改善が期待されています。



左、4柱式ツインエースで大型低床4軸車に対応、通り抜けのストールとして前後2台入庫も容易。右は3柱ツインエース



ピットフロアーリフトにはピットリフトとドレン2台を装備



照明はリール架台に設置、オイル、ブレーキオイルなど各種リール、吸塵ホースなど周辺機器も充実

オイル交換からミッション、エンジンの整備まで多目的に使えるピットフロアーリフトを2ストールに導入



ネットワーク導入の検査ライン、ガラス張りで見やすい



下回り塗装用ブースにはキャタピラツインエースを設備



通過型下部洗浄機とベガリフトで洗車作業を大幅に省力化

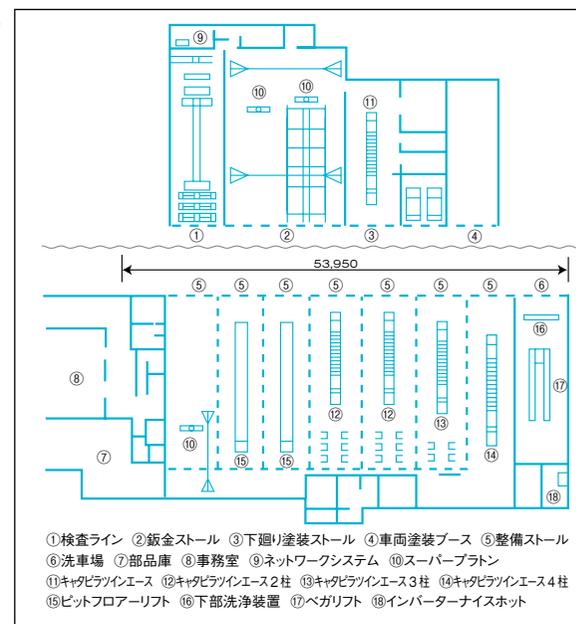


钣金ストールにはフレーム修正用リール、天井走行クレーンを設備

明るく、広い快適空間でサービス向上

大型車整備においても、トレーラーの増加や車両の大型化が進むなかで、「かねてからの念願であった4軸リフトの導入により、低床4軸車の整備が容易になりました」(長野支店長)とのことです。

また洗車場には通過型下部洗浄装置とリフトを併設し、下回り洗車作業を大幅に省力化されています。これも地域柄、冬季には融雪剤が多用されることから「洗車の省力化が切実に望まれていた」(川東工場長)ことによるものです。作業環境の面でも「明るく、広く」(川東工場長)と、リール架台に照明を設置し、ゆとりあるストール配置により効率面、安全面にわたる配慮を徹底されています。また排水再生装置による水のリサイクルなど、環境、省資源対策も万全です。新工場の完成により、顧客へのサービス向上と入庫拡大にも大きな期待が寄せられています。同社が先駆けて導入された車検等含めた総合営業により、営業とサービスが一体となって顧客への万全のフォローを実施していきたいとのことです。



本社と部品、PDIの統合により 全販売拠点のバックアップ体制を確立

高知県内に販売店網を展開する高知ダイハツ販売(株)では、このたび本社、部品、PDIをはじめとする各部門を統合し、新たな総合センター拠点を開設しました。これにより新車架装、钣金塗装をはじめとする業務の効率化、高品質化を実現し、各販売拠点のサービスをサポートするとともに、販売・サービスの連携による総合営業体制を実現されています。



本社棟には本社(2F)と部品部を併設



サービス部 部長
中島 成明氏



サービス部 課長
安藤 博貴氏



最新設備により効率化と品質向上が期待されるBP棟



左からPDI棟、本社棟、BP棟。高知自動車道の南国ICにも至近の好立地

広大な敷地に本社・各部門を統合

高知市の東に隣接する南国市に開発された「南国オフィスパーク」の一角に、新たに建設された高知ダイハツ販売(株)の新社・サービスセンターは、約5,000坪の広大な敷地の中央に本社及び部品部、右手にBP棟、左手にPDI棟をレイアウトし、その前面には敷地のほぼ6割を占める広大な新車ヤードと駐車場が広がっています。同社においては従来、高知駅前にあった本社の移転計画を始めとして、販売、サービスが分離していた高知中央店の新築移転、また従来2工場体制であったBP工場の統合など、各拠点のリニューアルが懸案となっていました。とくにBP工場においては「それぞれの工場の規模・機能が一長一短」(中島部長)であり、またPDI(新車架装・納車準備)業務も従来は各販売拠点ごとに行われていたため、本来の販売、サービス業務の負担要因となっていました。さらに配車ヤードも位置的に不便な

場所であったことなど、さまざまな改善計画が今回のセンター拠点の完成とともに、一挙に解決されたこととなります。



B&Pラインシステムによりスムーズな作業工程を実現

明るいPDIストール、エアコンも完備

効率化と快適な作業環境を実現

新工場においては計画の大きな目的である「高効率・高品質化と品質向上、作業時間短縮を同時に実現」(安藤課長)するため、最新機器の導入はもちろん、トップライトの採用により明るく快適な作業空間を実現されています。BP棟では下地処理から塗装・乾燥まで、一貫したライン化により高効率化、高品質化を実現するB&Pラインシステムを導入。また将来の水溶性塗料へ対応できる塗装ブース、塗装ミストの排出を防止するW/W(ウォーターウォッシュ)排気装置、排水処理装置など新技術対応、環境対応の設備も完備。夏には虫も飛びかうという地域の環境保護にも配慮されています。またPDI棟においては新車点検・整備、架装のほか中古車再生、洗車場など独立した専用ストールが配置され、いずれもスムーズな作業工程とともに明るく快適な作業環境を実現されています。



水性対応を考慮し塗装ブースアイリスフレックスを導入



床式修正装置を設備した車体修正ストール



ヘッドライトテスター、サイドスリップテスター、ライトスタンドを設備した検査ライン



BP工場も明るく快適な作業環境



W/W排気装置の導入で環境保護対策も万全



門型洗車機はダートバスター機能付きで、砂ぼこり、汚れ対策も万全

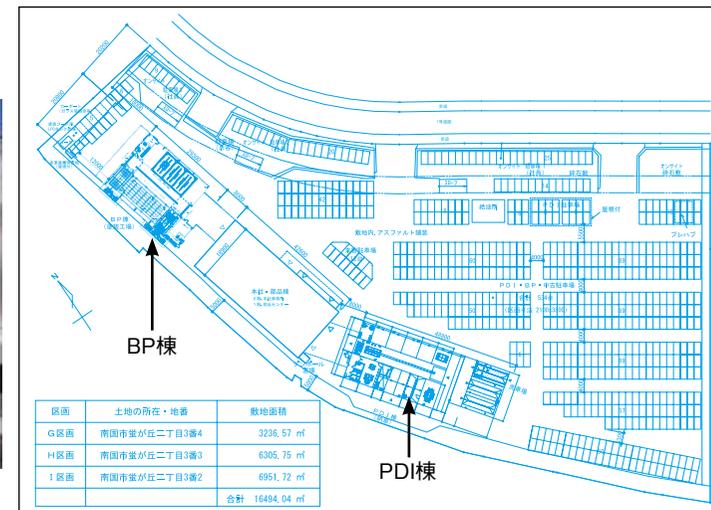


温水洗車機、各種クリーニング機器を設備した中古車再生ストール

温水洗車機を設備した手洗い洗車ストール

総合営業によりCS向上と販売をサポート

新車販売に占める軽自動車の比率が高まっている中で、軽自動車は生活に密着した移動手段としてとくに女性に高い人気を得ています。同社においてもユーザーの7割を女性顧客が占めるといわれ、それだけに塗装の仕上がりなどについても女性特有のきめ細かい視点にたった高品質なサービスが求められています。新工場の完成により、こうした厳しいニーズにも対応し「高品質で均一な仕上がりを実現することにより、営業スタッフも安心してお客様に対応できる」(安藤課長)と、顧客満足度の向上にもつながることが期待されています。また今回の新拠点の完成に引き続いて高知中央店の移転・新築により、さらに販売とサービスが連携して効率的な業務活動を行う「総合営業」体制が実現することになります。同社では「新工場の完成と新設備の導入により、高品質とCS向上に取り組む」(中島部長)と意欲を語っておられます。



SHOW ROOM

SHOW ROOM

2007-2008年版 NETWORK法対応キットVol.1 (ネットワークシステム法対応キット)



次の2007年版、2008年版の内容がセットになったものです。

<対象機種>

NW7000、NW8000、NW8100、NW8200 (Win-upを含む)、
NETWORK-Easy、EASY-NET (LEXUS仕様)、EASY-NET、ABS APEX

2007年版 NETWORK法対応キットVol.1

自動車点検基準の改正及びオパシメータ検査の導入に伴うネットワークシステム等の法対応バージョンアップソフトです。

<ソフトの概要>

- 自動車点検基準の改正に伴う変更
(大型車車輪脱落事故の再発防止点検内容の見直しと追加、被牽引自動車の点検項目の規定、オパシメータ項目の追加等)
- オパシメータ検査に関する対応
- 指定整備記録簿他 帳票の対応
- 要望事項等による機能追加・変更
(速度計試験時の新基準値対応、許容輪荷重表記の変更、ブレーキ計算タイプの名称変更、排ガス規制型式の登録件数変更、重量税の登録件数変更、走行距離入力・印字機能追加、パスワードによる変更履歴の管理)

<対象機種>

NETWORK 7000、8000、8100、8200 (Win-upを含む)及び
NETWORK-Easy、EASY-NET (LEXUS仕様のみ)を対象とし、法対応プログラムを適用します。
(NW6600以前のDOS版、EASY-NETは対象外)
※商品構成により対応方法が異なりますのでお問い合わせください。

2008年版 NETWORK法対応キットVol.1

「道路運送車両の保安基準の細目を定める告示」及び自動車検査独立行政法人の「審査事務規程」の一部改正に伴い、前照灯及び制動力の新基準に対応するバージョンアップキットです。

<ソフトの概要>

- すれ違い灯(エルボ点位置)と走行灯(照射方向の主光軸の向き)の判定基準の変更
- 制動力試験においてブレーキローラー湿潤時の判定値の適用

<対象機種>

NW7000、NW8000、NW8100、NW8200 (Win-upを含む)、
NETWORK-Easy、EASY-NET (LEXUS仕様)、EASY-NET、ABS APEX

※商品構成により対応方法が異なりますのでお問い合わせください。

マイクロライン Win-upキット(BML-4000WIN, BML-4600WIN)



- MS-DOSを使用しているBML-4000・BML-4600・BML-4600Jをwindows仕様(DOS / V仕様)にバージョンアップするキットです。
- OSにwindows XPを採用、高解像度グラフィックで表示します。
- 従来のセンサーヘッド及びターンテーブルはそのまま使用できます。



フォーミュラーベクトル9000シリーズ ホイールバランサー



●ベクトルシリーズの機能を満載して新登場です。

- 自動位相検出—— ウエイトを付ける位置がワンタッチで最上点へ!
- スポークプログラム—— スポークホイールも美観を損なうことなく修正!
- ウエイトクリップ—— ウエイトを修正位置に確実に貼り付けできる!

型 式	V9901 / 2	V9801 / 2	V9601 / 2
測定ホイール径	12~24" (手動入力 8~30")		
測定ホイール幅	3.5~20"		
ホイール径 入力	自動(手動)入力	自動(手動)入力	手動入力
ホイール幅 入力	自動(手動)入力	自動(手動)入力	手動入力
ディスタンス 入力	自動(手動)入力	自動(手動)入力	手動入力
電 源	100V / 200V	100V / 200V	100V / 200V
自動位相検出	○	○	○
スポークプログラム	○	○	○
ウエイトクリップ	○	○	○
自動入力・モード切替	○	○	○
ウエイトカッター装置	○		

マットクリーナー



- ドライ(ジュータンマット)とウエット(ゴムマット)の洗浄ができます。
- 外板及び接水部はプラスチック、メッキ鋼板、ステンレスを採用、錆の心配がありません。

型 式	MC-6001D-S
最大マット寸法	幅700mm 厚さ25mm
モーター	AC100V 250W
給水量	10L / min 以上
本体寸法、重量	1,030×720×1,250mm 約84kg

バッテリーテスター



- バッテリーに大きな負荷をかけないコンダクタンス技術を活用したバッテリーテスターです(プリンター一体型)。

測定項目

- ・12Vバッテリーテスト
- ・12Vスターターテスト
- ・12V充電ングテスト

型 式	MDX-P300B
測定範囲	100~1400CCA
測定規格	JIS・SAE・EN・DIN
本体寸法	230×102×65mm

水性塗料用アクアドライガン



- 乾燥速度の遅い水性塗料に適したドライガンで、少ないエアを増幅し、多くのエアを噴出します。

型 式	ADG-1B
標準使用圧力	0.1Mpa
空気使用量	390L/min
重 量	400g

海外情報 中国・最大級のオートアフターマーケットフェア

■北京

2008年3月14日から17日までの4日間、北京の「中国国際展覽中心」にてAUTO MAINTECH 2008が開催されました。この展示会は中国で最大級のオートアフターマーケットフェアで、会場は第1ホールから第9ホールと屋外展示場のスペース(面積は東京ドームの約1.3倍)にて開催されました。機械工具、用品など出展企業数は748社で中国国内企業に加え日本、ヨーロッパ他の国々からの企業も多数出展されていました。会場内で特に目立った物はフレーム修正機で、どこを見ても修正機が展示されていました。自動車の急増により、街中は渋滞で事故も多いようです。

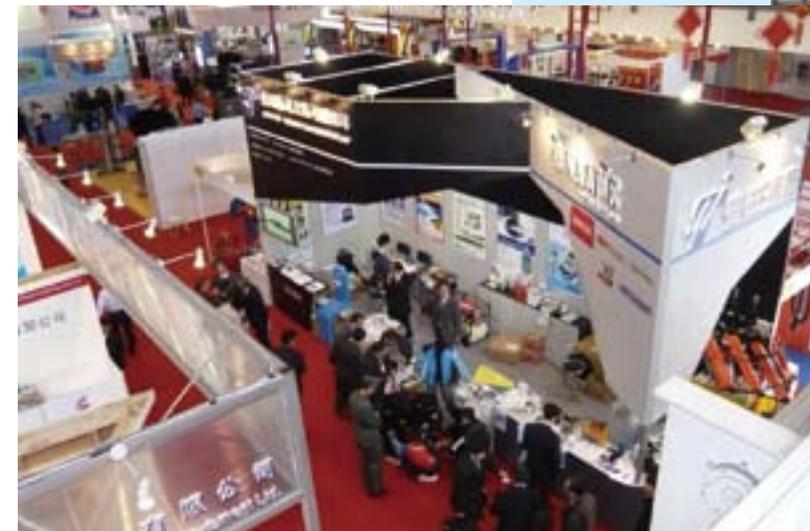
会場となった「中国国際展覽中心」には、4日間を通じて国内外バイヤー、販売会社、整備関係者を中心として40,000人を越える来場者が訪れ活気あふれる展示会となりました。バンザイが出品展示しました豊田通商(上海)有限公司ブースも多数のお客様を集め大盛況となり、バンザイ製品をアピールしました。中国への進出に向けての大きな前進となりました。



展示会が開催された中国国際展覽中心



豊田通商ブースのある第2、3ホール入口



来場客で賑わう豊田通商(上海)有限公司ブース



騒音計とジャッキも展示



環境に良い油脂分解洗浄剤にも熱心に質問



北京 BEIJING

北京は日本から約4時間、中華人民共和国の首都、面積は約1万6800km²、人口は、1,490万人を超えています。観光地として天安門広場や万里長城などの名所が多いことでも知られています。今年は、第29回オリンピック競技大会が北京にて2008年8月8日～24日の17日間開催されます。市内はオリンピックに向け、道路の整備が行われ、高層ビルの建築が所々で進んでいました。



北京オリンピック会場の北京国家体育場(愛称「鳥巢」)収容人員91,000人)車の行きかう中、やっとの思いで撮影



街中もオリンピックの準備が進んでいます



会場内にオリンピックのキャラクターが応援に



左から 豊田通商 倪(ニー)さん
バンザイ 増田代表、王、湯マネージャー



有限会社 共輪自動車

岩手県一関市赤荻字塚92-4 TEL.0191-25-2462

販売・サービスが顧客拡大に連動 立会い車検は「一石何鳥も」の効果！

東北自動車道の一関ICに至近の好立地



3年前に店舗、サービス工場をリニューアル

優れた販売実績でダイハツのスーパービット店に指定



一関市は岩手県の南端にあり、宮城県と境を接する人口約12万人の地方都市です。各系列の自動車ディーラー、専業工場、用品店がサービスにしのぎを削る市場にあって、(有)共輪自動車は早くから販売・整備の両輪体制で顧客の拡大と固定化に力を入れてきました。3年前に立会い車検にふさわしい店舗、サービス工場へとスタイルを一新、車検入庫の促進と同時に、顧客満足につながるサービスの提供を追求されています。



代表取締役
菊地 寛之氏



サービスマネージャー
菊地 賢治氏

中古車販売で顧客づくりの基礎固め

いわゆる二代目社長さんでいらっしゃるね
菊地社長:父である会長の菊地巧晃氏の創業です。父は自転車、オートバイから自動車を手がけ、昭和47年、31歳のときにここから数キロ奥の厳美町で整備工場を開きました。現在は钣金塗装工場としていますが、当時は自動車整備など考えられないような場所でした。

まさに時代を先取りされていたわけですね。

菊地社長:時代的に合っていたのでしょう。中古車卸業者と契約して中古車を展示し、月販20台ほど販売していました。父は販売が主体でしたので、整備はあくまでもアフターサービスという位置付けでした。

現在の場所での営業はいつ頃からですか

菊地社長:5年ほど後の昭和52年に、現在の場所に中古車展示場を作りました。その当時は完全に販売とサービスが分離していた状態でした。しかし、当時はあまりディーラーでもやっていなかった休日営業で販売を伸ばし、整備が追いつかなくなったので、中古車展示場に小規模の認証工場を併設しました。当時は販売が先行で顧客を拡大するという形でした。



顧客に占める割合の高い女性ユーザーへの心配りがうかがえる

自動車販売市場に大きな変化が...

サービスに力を入れ始められたのはそのあとですか
菊地社長:私自身は当時仙台のディーラーに営業として勤務していたのですが、平成12年頃が大きな変化の時であったと思います。バブル景気の頃までは新車から2年半くらいで営業も代替えを積極的にお勧めし、お客様も簡単に買い替えられたのですが、販売競争の激化により利益が薄くなってきたことに加えて、大型車からコンパクトカー、軽自動車へとお客様のニーズがシフトしてきました。当社でもそれまではセダン、ワゴンの大排気量車やRV車などを扱っていたのですが、軽自動車の比率を増やさざるを得ませんでした。そうすると販売だけではとても利益が出せなくなってきたのです。



まさに感動夢工場の理念を具体化

ステップアップ制度の資格制度にも積極的に参加

現在の店舗にリニューアルされたのが3年前ですね
菊地社長:厳美町の工場が道路計画で移転することになったのですが好適地が見つからず、この場所にあった中古車展示場を工場にすることになりました。当時は、同業者にも「こんないい場所で工場をやるのはもったいない」と言われました。それでも、販売だけでは成り立っていかないということは身にしみていました。いわゆる「売りっぱなし」ではダメということです。販売はお客様を作るために不可欠ですが、販売だけでは利益が出せません。新車点検、6ヶ月、1年点検、車検へとつなげ、お客様の回帰率を高めることが狙いでした。

今ではいい立地がサービス入庫にもつながっていますね
菊地社長:現在、弟(菊地賢治氏)がサービスマネージャーとして全般を担当していますが、サービスの位置付けそのものが20年前とは大逆転しましたね。以前は裏方というイメージでしたが、今では販売と整備が両方とも表舞台です。メカニックもお客様に直接対応して、提案やご説明を行うことが大切になってきました。そのためショールームはもちろん、サービス工場もガラス張りにして、暗い、汚いというイメージを払拭しました。設備も30年はこのまま活用できる最新のものを導入しています。



明るく快適な作業環境を実現



立会い車検のメインステージ、検査ラインとレセプションストール

最新機器で効率的なサービス体制を実現



お客様へのフレンドリーなイメージ作りにも工夫



タイムリーな提案も盛り込まれた情報発信コーナー

分煙化などショールーム内の配置にもきめ細かく配慮

商談コーナー、キッズコーナーも完備

レセプションストール、検査ラインの作業が見える待合コーナー

「立会い」を店舗づくりに具現化

まさしく立会い車検のコンセプトそのものですね

菊地社長:百聞は一見にしかずで、百の言葉で説明するより一度見てもらうほうが納得してもらいやすいですね。整備の選択にしても「今は大丈夫ですが、まもなく交換時期が来ます、いかがいたしますか」とお伺いすればその場で選択していただけます。現在では半分以上のお客様が立会い車検を選択されています。感覚的には3分の2くらいいるかもしれないですね。

顧客層にも関係があるのですか

菊地社長:とくに女性ユーザーは抵抗なく立会い車検を選ばれます。年代はあまり関係ありません。「立会い車検って何?」、と聞かれるお客様には「見積りまで30分ほどお付き合いたたいて、その場で整備を決定していただいて、そのあと30分くらいで車検を行います」と説明すると、「それなら待ちます」といわれます。もちろんお任せ車検のお客様でも事前に見積りはすべてお出しします。

「やってよかった」お客様の感想に手ごたえ

まさに顧客満足度の高さにもつながっているようです

菊地社長:自分のクルマの健康状態がすべて見てもらえるので、「やってよかった」というお客様が多いですね。立会い車検をしていただくことで、その後のサービスにもつながります。最近ではセルフのスタンドが増えたためか、オイル交換やタイヤ交換のお客様も増えています。その意味で立会い車検は一石何鳥もの効果がありますね。クレームやお支払いのトラブルもほとんど皆無になりました。

MSC経営戦略会議 第91回研究会

全国の先進的自動車整備業経営者によるMSC経営戦略会議(若杉利男議長)は2月16~17日の2日間にわたり、名古屋市内のホテルで第91回研究会を開催しました。今回の講演では前回に引き続き指定整備工場におけるコンプライアンスに焦点を当て、(株)ティオ代表取締役、山本覚氏を講師に招き、「コンプライアンスがCSの原点」と題して、顧客の信頼に応える企業としての社会責任の重要性を強調されました。

またショップ見学として、「見て納得できる」立会い車検の導入により顧客の信頼向上、顧客拡大を実践している感動夢工場会員の(有)小川自動車「ピットワン・Ogawa」を訪問。その後、トヨタテクノミュージアムの見学など充実した研究活動、情報交換を行いました。



ピットワンOgawaの立会い車検を興味深く見学



CSの原点となるコンプライアンスについて語る講師の山本覚氏



挨拶に立つ若杉利男議長。厳しい経営環境に勝ち抜く意欲を表明

感動夢工場 第7回定時総会・第14回研究会

「らくらく車検工房」「四輪工房」「オイル工房」「リペア工房」の4つの分科会で組織される「感動夢工場」(高間専逸会長)では、2月20~21日の2日間にわたり、東京都内のホテルにおいて第7回定時総会・第14回研究会を開催しました。

第一日目は定時総会の後、(株)ティオ代表取締役、山本覚氏による「コンプライアンスがCSの原点」と題する講演、さらに「バンザイアワー」として自動車検査における「制動力の判定値の改正」「走行用前照灯及びすれ違い灯の照射方向の判定値の改正」などの詳細についての情報提供が行われました。

第二日目は研究会の場を日産自動車(株)横浜工場に移し、エンジン生産工程や日産の歴史や最新技術を展示したゲストホールを見学、安全快適な職場環境づくりや品質管理における取り組みなど、自動車整備に生かせる研修活動を行いました。



総会を前に挨拶を述べる高間専逸会長



日産自動車の横浜工場、ゲストホールを見学

ハイブリッドカーセミナー実務研修会

革新著しい自動車新技術の焦点として注目される「ハイブリッドカーセミナー」が、MSC研究会、感動夢工場、セレクトクラブの合同により1月31~2月1日の2日間にわたって(株)あいおい保険自動車研究所東富士センターにおいて、同センターの技監・鈴木正恒氏を講師として開催されました。

毎回好評のうちに開催されているこの研修会では、プリウス、エスティマ、ハリアー及びホンダ車の4車種について、ハイブリッドカーのシステム概要、故障車のレスキューのポイント、メンテナンスポイント、試乗走行テストなど、実車を用いて分かりやすく講習を行いました。

また受講者には「低電圧電気取扱研修受講修了証明書」が発行されるなど、これからの整備に不可欠の技術として参加者は真剣に座学、実習に取り組んでいました。



ハイブリッドシステムの概要を座学で講習



実車と教材によるサービスの実習

BANZAI GUIDE

環境に貢献するバンザイへ、ISO14001:2004認証を取得しました!



バンザイは平成18年より「チーム・マイナス6%」運動に参加し環境保全活動に取り組んできましたが、環境への取り組みを企業経営の重要テーマと位置付け、さる3月8日ISO14001:2004(環境マネジメントシステム)の認証を本社と東京支店で取得しました。

当社ではすでにISO9001:2000(品質マネジメントシステム)の認証を取得しており、今回の認証取得で「品質」と「環境」を統合したマネジメントシステムを構築し、全社的に統制のとれた、より効率的な活動が容易になりました。

今後は「顧客第一主義」の信条にもとづき全社一丸となって「お客様満足の向上」をめざし、積極的に「製品品質の向上」、「環境保全・汚染防止活動」、「業務の効率化」に取り組んでまいります。

EMCエキサイティングフェアでバンザイの機器をご提案

さる2月20~21日の2日間、東京都大田区の東京流通センターで開催されたエンパイヤ自動車(株)(木村亨社長)の「EMCエキサイティングフェア2008」に、バンザイではオパシメータ、エンジン診断機などを出品しました。

このフェアは毎年二回、主に全国の自動車部品用品販売店の皆様を対象に開催されているもので、昨今では部用品ショップにおいてもサービスの重要性が高まっていることから、今回の出品となったものです。エレクトロニクス化や法制化対応など、これからのサービスに不可欠の機器としてご来場者たちの興味深い視線が寄せられていました。



自動車部品、用品の新商品を一堂に展示



エンジン診断に不可欠の日立ダイアグモニターとBOSCHシステムテスタ



平成22年までの導入が求められているオパシメータ

編集後記

この号が出来上がって皆様のお手元に届くころは、春爛漫のころあいと思います。取材先の四国高知は、まだ2月というのに、「ひばり」がさえずり、日差しも柔らかく、「南国」の地名に相応しい陽気でした。取材先の工場は「南国オフィスパーク」の銘にふさわしく

周りの自然を残したままの、環境と調和を考えた工業団地にあり、事実工場設備も環境を配慮した素晴らしい造りでした。環境問題が日常の話題に登る今、自動車が私達の生活基盤を守り、豊かにしつつ、来年も再来年も、「南国」のひばりが、さえずり続けられる事を確信した取材でした。

<酒井>